

若者が作る広報ニューしすい

2013
創刊号

Young Eyes



若者目線で
酒々井を見る

<編集委員の紹介>

写真左から中台さん（30歳）、大島さん（24歳）、高島さん（19歳）
高田さん（27歳）、沼澤さん（21歳）、小野さん（22歳）

※この広報紙は、まちづくり活動の取り組みや町の魅力について、町民や若い人の目線で新たに情報発信していくことを目的に発行される町民参加型の広報紙です。

酒々井町マスコットキャラクター



井戸っこ(しすいちゃん)



Scoop

スクープ



いつも通る道だけど様々な表情を見せてくれる“このミチ”

このミチ



高島 由香

皆 さん初めまして！順天堂大学2年生で女子蹴球部に所属している高島です。さて、私が見た酒々井町はここ、京成酒々井駅と順天堂大学を結ぶこの道ですね。最初は登校するたびに一体どこまで続く道なのだろうと、学校がある方向を見つめていたものです。

しかし、部活後の真っ暗なこの道は非常に星がきれいで、空気が澄んでいて心地よさを感じます。そうかと思えば、風の強い日は遮るものがないので自転車が進まなくて困る日もあります。様々な表情を見せるこの道が私は好きです。友達と将来の夢やたわいもない会話を彩るのもこの道の青空だったり田んぼの匂いだったり、原付のエンジン音だったりするのです。酒々井の温かく人間味溢れる町をそのまま象徴しているような道だと思います。これからもこの道の表情を見ていきたいと思っています。

この道をバスで通る人も多くありますが、たまにはゆっくり歩いてみると違った印象を持つかもしれませんね。

私を変えた酒々井での出会い

高田 真理子



この日はハロウィンで魔女の仮装をしてみました

私 は今、大室台小学校でボランティア活動に参加しています。活動を始めるきっかけは東酒々井にある「井戸端」にふと立ち寄り、酒々井町で色々なボランティアを募集していることを知ったからです。その中で今のボランティアを選んだ理由は、好きな英語を使えるものだったからです。大室台小学校では、平成24年7月に地域支援本部が立ち上げられ、元校長の山岸さんが地域支援コーディネーターとして指揮をとっています。山岸さんの思い

は、「学校の事情と地域の事情を知っている自分が、学校の求めに応じたボランティアの方を集め、コーディネートをしたい」ということでした。実際ハロウィンやクリスマスなどの英語の授業に仮装をして参加したいという思いを山岸さんに伝えたところ、学校側と交渉し、私の思いを実現してくれました。山岸さんと出会っていなかったら私にとって未知の経験をすることはできなかったと思います。改めて人との出会いは大切だなと感じました。



Young Eyes

ヤング

アイズ



妊婦体験ができる服を着て階段上りにチャレンジ

充実した 子育て支援



中台 陽一郎

私は、少子化の進行に着目して、酒々井町の子育て支援について取材してきました。そのうちの2つの事業について紹介します。

1. 「放課後子ども教室」

放課後の安全で安心な居場所として、地域住民や大学生の協力を得て、子どもたちが健やかに育まれることを目的とし、教養、スポーツなどの教室が開催されています。子どもたちにとって、世代間交流ができる数少ない場所です。また、住民協働としての側面も持ち合わせ、なか

な事例のない事業です。

2. 「ママパパクラス」

出産前の両親を対象に、もく浴や調乳の実習、出産などについて学びます。参加していた方々は、真剣に実習などに取り組んでいました。また、出産を同時に迎える保護者が顔を合わせること、仲間意識を持つ役割にもなる事業です。

酒々井町では、他にも数多くの子育て支援に関する事業が実施されています。私も改めて、この町で安心して子育てができると思いました。

My Favorite Place



沼澤 かすみ



和やかな雰囲気では話も弾みます♪

こんには、編集委員の沼澤かすみです。私が紹介する酒々井町のお気に入りの場所は、駅周辺の飲食店です。

私がよく行くお店では、人数でわいわい飲んだり食べたりすることもできますし、2人でゆったりと話をすることもできます。とてもゆったりとした時間が流れている感じがします。店員さんにも若い方が多いからか、若者のお客さんが多く見られるように思います。

酒々井町には多くの飲食店や居酒屋がありますが、まだまだ

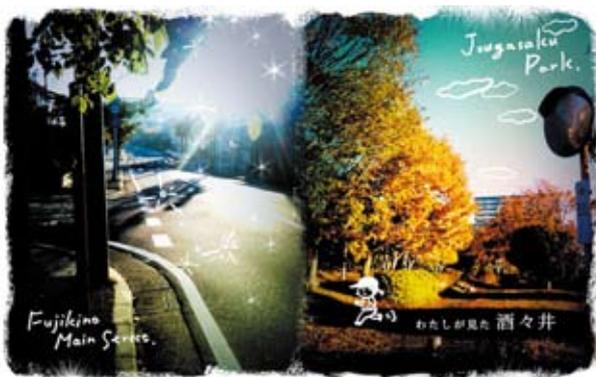
皆さんが行ったことのないお店もたくさんあるのではないのでしょうか？

町を歩いて、自分のお気に入りのお店を探してみることも楽しいと思いますよ！

また、こういったお店だけではなく、本佐倉城跡をはじめ、酒々井町には史跡や神社などが多く存在します。自分の足でその地に行き、観光してみるのも面白いと思います。

もしかしたら、目的地の途中で新たな発見をすることもあられるかもしれませんよ♪





ブラリ散歩の 末に見えたもの

大島 由依

7年前、私は隣の佐倉市から、ここ酒々井町に越してきました。当初、よく父が「空気がウマ〜イ」とつぶやいていたのを覚えています。

私は、仕事が休みの日にはブラリと散歩がてらウォーキングに行きます。ただ歩いていればなんてことないかもしれませんが、この町にはステキな景色が広がっている事が身に染みてきます。

特にオススメは、上ヶ作緑地にあるJR線路沿いの並木道です。ここは、秋になると木々の葉が鮮やかに色づいてとてもきれいなのです。

上ヶ作緑地を抜けて跨線橋を渡り、ふじき野のメイン通りに入ると寒い時期の早朝、晴天の日には朝露が太陽に反射して、その光景を見ているとスーッと心が軽くなります。同じメイン通りから臨む生コンクリート工場方向の草の壁が住宅街とはミスマッチですが、その景色が私にはベルリンの壁みたいにも見えて1人ファンタジックな気分さえなります。深い景色が溢れています。

ただ“走る”から “感じる走り”に

小野 博



私は走るのが好きで、週に数回、町内を駆け回っています。自然豊かで木々の多い場所を走っているととても気分がいいものです。今回はそんな私がジョギング中に見つけたおすすめスポットを3か所ご紹介します。

まず1つ目は酒々井区の「築山」です。ここは管理が行き届いて、天気の良い日には見渡しのよい風景が眼下に広がります。また夕日もきれいに映えて見えます。

2つ目は中川区の「水神社」です。酒々井町には双体道祖神が多く点在していますが、ここの双体道祖神



町内で見つけた一輪の花

は小さくて可愛らしい表情をしています。

最後は「本佐倉城跡」です。通常は佐倉方面側からの入場となりますが、おすすめしたいのは京成本線側から見た景色。実は、この京成線側からの入り口が本来の正門で、その風情は城無き今も非常に雄大に感じます。

以上の場所を酒々井小学校からスタートとして周ると約3.5kmとなり、いいトレーニングになりますよ。

広報ニューしすい Young Eyes の創刊に寄せて

6人の編集委員の皆さんが、若者の視点から広報紙を創っていただくことが私の夢でした。皆さんの新しい発見や鋭い観察眼から生まれる広報紙には、明日のまちづくりのヒントがいっぱい詰まっていると思います。

今後も町民の皆さんにたくさんの情報とメッセージを発信し続けてください。期待しています。

酒々井町長 小坂 泰久

有料広告でPRしてみませんか！

この広報紙の発行月は1月と7月です。

申込期限 7月号掲載希望者は5月24日(金)までに

<広告の規格・掲載料>

1号広告 縦4.5cm×横8.6cm 7,500円/回

2号広告 縦4.5cm×横18cm 15,000円/回

※詳しくは町ホームページをご覧ください。経営企画課広報広聴班までお問い合わせください。

☎043(496)1171 ㊟222

